

体験談レポート

報告者： テレマークスキーインストラクター/ガイド 長谷部 武さん(男性)
 嬌恋 Free Heel Ski Program INDY (<http://indy-telemarkski.info/index.htm>)
商品名： ニュウモラップEX ジャケット
テスト日時： 2010 年1 月5 日
アクティビティ： クロスカントリースキー(浅間山周辺)
テスト環境： 吹雪/小雪/曇り 気温マイナス6度
当日のレイヤリング： (トップス):フラッドラッシュスキンメッシュT、他
 薄手/厚手ベースレイヤー、ニュウモラップEX ジャケット、ハードシェル
 (ボトムス):フラッドラッシュスキンメッシュタイツ、ベースレイヤータイツ、
 ソフトシェルパンツ

～ 変化する気象条件にも対応、寒さを感じることなく滑り続けることができた ～

浅間山山麓に張り巡らされた林道(約20km)をクロスカントリースキーでツーリングしてきました。

湯ノ丸スキー場のリフトを一本使ったところから、湯ノ丸高峰林道の緩やかな上り道を歩き始めます。

天候は吹雪、ニュウモラップEX ジャケットの上から防水性ハードシェルを着用しました。

歩行のリズムを掴み始めた頃に池の平湿原を通過。

次は高峰温泉・アサマ2000 スノーパークを目指し、緩やかな下り道です。

逆方向から来たクロスカントリースキーヤーのつけたトラックを使い、軽快に走り出します。しばらくして雪が止み、いよいよハードシェルを脱いでニュウモラップEX ジャケットの出番となりました。

ニュウモラップEX ジャケットの肘の立体デザインが効いていて、ストレスなくストックを振ることができました。

生地が擦れ合う音も気になりません。

アサマ2000 スノーパーク(車坂峠)からは吾妻林道のつづら折りの長い下り道です。

背中に汗を感じ始め、ベンチレーションを使用。

ザックを背負った状態でも開閉しやすい箇所にあるベンチレーターは、快適に機能しました。

林道群馬坂線に合流する頃、天候は再び吹雪。

あと数十分も滑ればゴールという距離だったので、防水性ハードシェルを着ることなく行動を続けました。

ニュウモラップEX ジャケットは横殴りの地吹雪もしっかりブロックしてくれて寒さを感じることなく滑り続け、農道(パノラマライン)に合流したところで無事ゴールとなりました。

ニュウモラップEX ジャケットは変化する気象条件にも対応し、着用し続けることができました。

軽量で適度にタイトなフィット感があり、追従性のある生地にあわせ肘の立体デザインで腕の動きを妨げず、着心地が良かったです。

類似のジャケットに必ずといってよいほど付いているハンドウォーマーポケットを設けなかった、という潔さにも感心しました。

